

ふるさと探訪

# 新々の記

異世代交流



“ふれあい”

親・子・孫と続く各代を世代とい  
い、人間の子が親となるまでの約三  
〇年を二区切りとする年齢層のこ  
とも世代という。

手取り足取り…親方・職人徒弟  
という序列が厳しかったかつての徒  
弟制度時代にあつては、「親方の技  
や骨は盗んで覚える」であり、たと  
え実の親子であつても年季奉公の  
年限（一〇年の慣例）や弟子の規律  
が守られていた。

腕前を磨き、物事の急所や要領  
を身につける技能訓練や体験学習  
も今や全く様変わりして、正に「手  
取り足取り」であり、時には教え育  
てる側が遠慮したり、我慢したり  
する場合もある。「本当のやさしさ  
は厳しさの中から生まれるもの」と  
いう教訓はどうなつたのだろうか。

そういえば、「痒い所に手を借し、  
微に入り細を穿つ」とような手法での  
学習や訓練の結果、「そんな面倒な  
ことは誰か出来る人がすれば…」  
というようなことを耳にするし、「嫌  
だから、面白くないから、辛いから」  
の三から話を聞くことも多い。  
シャツ出し…成谷利彰さんの「余  
談閑談」によると、「シャツをスポン  
の上に出すという着こなしが今や

年配者の間でも増えてきた。いいな  
あ。何度も試そうとしても、実行で  
きないまま、今日を迎えた…」と  
いう。

「流行はだか」とまではいがなく  
ても、若者のファッション・スタイルは  
日進月歩、変幻自在、自己表現その  
もので、身につかない限り、「シャツ  
を出しても出さなくてもダサイ」  
といわれる昨今である。

「だらしない、みづともない、見ち  
やいられない。」と、こつぴどく怒ら  
れたのも今は昔である。そこでまず  
もつて、その時と場所と状況などに  
対応する着こなしの原則は、お洒  
落と身嗜みのちがいを弁えること  
でもある。「派手・おしゃれ・馬子に  
も衣装と囁かれ」では立つ瀬がない  
ので、ほどほどの難しさを身につけ  
る必要がある。

そういえば、着こなし上手な人に  
は、その人に馴染んだスタイルが  
あるといわれる。「あの人のような  
…」といつても、自分にもピッタリと  
はいかないし、さりとして頑なに「人  
は人、我は我」の一点張りでは置いて  
けぼりをくうだけとなる。  
個族…精神科医の渡部正行先  
生は、現代社会を語る話のタネは、

核家族化、少子化、地域社会崩壊  
の三点セット」を挙げ、「隣は何を  
する人ぞ」で、ついでに、寿命が延び  
たら高齢化社会となり、やがては  
ともに暮らす家族をもたない「個  
族・独居・未婚・ひとり子」が急増  
したといわれ、「個族の心性とは、集  
団よりまず自分。だれよりも絶対  
に自分であり、個族予備軍の十代  
も『親はウザイ』と文句をたれる」  
といわれ、「個族は孤族となり、さみ  
しいと嘆き、ペットブームとなる」と  
説かれる。

そういえば、個室ひとり部屋）、  
個食（自分だけの食事）、個電（ファ  
ミコン遊びが孤独・孤立・孤児など  
の、引きこもり症候群）を増やして  
いる。

「律義者の子沢山」も古諺となつ  
て、「家族との絆を知らずに、他者  
と絆を結ぶのはむずかしい」渡部先  
生「ことである。とにかく、きずな  
つながら、支え合いの希薄な現在、  
異世代の交流はとなると…さて。

(元)郷土史編集専門員  
尾池隆男

人口 / 7,634人(前月比0人) 男 / 3,656人(前月比4人) 女 / 3,978人(前月比 4人)  
世帯数 / 2,941戸(前月比6戸) 出生 / 3人、死亡 / 6人、転入 / 23人、転出 / 21人 【8月31日現在】  
住民登録の手続き上、人口増減と出生・死亡・転入・転出の増減は一致しないことがあります。



本誌の印刷には、大豆インクを使用しています。  
また用紙には再生紙(100%)を使用しています。